

議 事 録

会議の名称	岩倉市地域福祉計画推進委員会（令和８年度第１回）
開催日時	令和８年５月２２日（金）午後２時から３時５０分まで
開催場所	岩倉市役所７階 第一委員会室
出席者	児玉善郎委員長 伊藤憲治副委員長 丹羽幸一委員 岡崎真大委員 阿部里江委員 大矢ひろ子委員 横井孝次委員 水谷寧志委員 福祉部長（佐野剛） 福祉課長（古田佳代子） 福祉課障がい福祉グループ長（水谷正樹） 福祉課社会福祉グループ長（小南友彦） 福祉課社会福祉グループ主査保健師（佐野和代） 福祉課社会福祉グループ主査（浅井淳一郎） 福祉課社会福祉グループ主任（真野友貴） 長寿介護課長（浅田正弘） 長寿介護課長寿福祉グループ長（新中須俊一） 社会福祉協議会 事務局長（若杉賢司） 社会福祉協議会主任（鈴木早織） 社会福祉協議会主事（星野捺美）
欠席者	鬼頭功一委員、森 秀和委員
説明者	福祉課社会福祉グループ主査（浅井淳一郎）
会議の議題	（１） 第３期岩倉市地域福祉計画の令和７年度進捗について （２） 第３期岩倉市地域福祉計画の中間見直し（スケジュールおよび修正の方向性）について
議事録の作成方法	☒ 要点筆記 ☐ 全文筆記 ☐ その他
記載内容の確認方法	☒ 会議の委員長の確認を得ている ☐ 出席した委員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
会議に提出された資料の名称	資料１ 岩倉市地域福祉計画推進委員会委員名簿 資料２ 評価基準について 資料３ 第３期岩倉市地域福祉計画 令和７年度進捗評価シート 資料４ 第３期岩倉市地域福祉計画 中間見直し資料
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍聴者数	０人
その他の事項	

1 あいさつ

2 議題

（１）第３期岩倉市地域福祉計画の令和７年度進捗について

事務局から資料２について説明。

委員長：新しい委員の方には馴染みの無いものだと思うので、進めながら分からないことがあれば質問してほしい。

事務局から資料３について説明

・基本目標１－施策（１）について事務局から説明。

委員：学習機会の提供の中で、どのような団体から岩倉まちづくり講座へ依頼があったのか。

事務局：社会福祉協議会の上支会などである。

委員長：計画の中間見直し時に住民アンケートをとるのか。

事務局：中間見直し時は、福祉サービス事業所とボランティア団体へのアンケートのみである。

委員：多世代交流センターさくらの家での多世代交流に資する事業で、各講座の参加者数は何人くらいか。

事務局：eスポーツフェスは29人参加。ドローン体験は2日開催し、延べ22人の参加があった。今後も指定管理者と打ち合わせを行い、令和８年度以降も継続をしていく予定である。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はBとする。

・基本目標１－施策（２）について事務局から説明。

委員長：質問、意見なし。事務局評価を肯定し、委員会評価はCとする。

・基本目標１－施策（３）について事務局から説明。

委員長：地域つながりづくり会議については、令和８年度には実施予定か。

事務局：事業の在り方を含めて、中間見直しで今後検討見直しを行っていく予定である。

委員：指標がⅡになっているのは何故か。

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

事務局：内容を改めて確認した結果、指標をⅢに変更したい。

委員長：指標をⅢとするが、委員会評価はBとする。

・基本目標２－施策（１）について事務局から説明。

委員：「こころの居場所あみ〜ご」について、以前から担い手不足と認識している。
ボランティア養成講座を受講した方で参加はあったのか。

事務局：参加者はいない。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はBとする。

・基本目標２－施策（２）について事務局から説明。

委員：障がい者の成年後見制度の市長申立はなかったか。

事務局：なかった。

委員長：成果指標の設定がないシートであるが、取組は概ね順調に進んでいる。委員会評価も事務局評価と同じBとする。

・基本目標２－施策（３）について事務局から説明。

委員長：質問、意見なし。事務局評価を肯定し、委員会評価はBとする。

・基本目標２－施策（４）について事務局から説明。

事務局：成果指標の「個別避難支援計画の作成率」について、令和５年度以降の評価シート上の目標値に誤記（誤：29%、正：100%）があったため、本来の100%に修正したい。併せて、目標値の変更に伴う評価理由についても修正を行いたい。

委員長：スクールガードが減少傾向にあるため改善ができると良い。委員会評価としても事務局評価と同じCとする。

・基本目標２－施策（５）について事務局から説明。

委員長：質問、意見なし。事務局評価を肯定し、委員会評価はAとする。

・基本目標３－施策（１）について事務局から説明。

委員長：質問、意見なし。事務局評価を肯定し、委員会評価はAとする。

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

・基本目標３－施策（２）について事務局から説明。

委員：断らない相談支援会議の件数が４件とあるが、記載のある「単一課題は各窓口へ直接繋いだ」ケースは何件か。

事務局：福祉総合相談として対応したケースは２１３件あった。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価もＢとする。

・基本目標３－施策（３）について事務局から説明。

委員長：質問、意見なし。委員会評価も事務局評価と同じＡとする。

委員長：推進委員評価のコメントについては、時間の都合上、委員長に一任いただき、後日記載することとする。

（２）第３期岩倉市地域福祉計画の中間見直し（スケジュールおよび修正の方向性）について

事務局から資料４について説明。

委員長：特に意見はないため、令和８年度は４回の会議を実施し、中間見直しを進めていただきたい。

３ その他

事務局：次回の委員会は８～９月頃を予定している。正式な日程が決まり次第通知するため、予定の確保をお願いしたい。